

学校紹介



国立大学法人

附 鹿児島大学教育学部附属小学校

Elementary school Attached to Faculty of Education, Kagoshima University



鹿児島大学教育学部附属小学校

学校長あいさつ



橋元 忠史

本校の学校教育目標は、「夢や目標をもち、共にみがき高め合う子どもの育成」です。この学校教育目標には、「夢や目標の実現に向けて、これまでに学んできたことを生かして、友達と試行錯誤を繰り返しながら、よりよい自分の実現に向けて、高め続けていく子ども」を育成したいという教師・児童・保護者の思いが込められています。

このような目指す子ども像の実現に向けて、本校では、学校を「学びと育ちのステージ」と銘打ち、長い歴史の中で受け継がれてきた教育活動を大切にしながら、一方では、時代の変化に対応した教育活動も先進的に取り入れることに努めています。

伝統を大切に活動としては、「体験活動の充実」が挙げられます。遠足や自然教室、修学旅行などの学校行事はもちろん、日々の教科授業でも、様々な「ひと・もの・こと」との価値ある体験ができるように工夫を図っています。このよう

な体験活動の充実を図ることで、友達と協力して、やり遂げる喜びを味わうことができるようにしています。

時代のニーズに応じた活動としては、「マイプロジェクト(総合的な学習の時間における個人探究)」が挙げられます。一人一台のタブレットを積極的に活用しながら、とことん自分の探究課題を追求したり、異学年グループで協働的なプロジェクトを構想・実行したりと答えの明確ではない時代を生きるための核となる資質を養う本校独自の教育活動です。

このように、本校では、「伝統」「最先端の教育」という2つの大きな柱を大切に、鹿児島大学との連携を深めながら、知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努めております。校内には、子どもたちと教師の声が響き合い、活気に満ち溢れています。ぜひ、お子様の6年間という大切な時間を本校に託していただけないでしょうか。そして、共に子どもたちの健やかな成長のために、教育について語り合っていきましょう。

御入学をお待ちしております。

学校教育目標

夢や目標をもち、共にみがき高め合う子どもの育成

Reach for the Stars Together!

【校訓】

まことの子

ちからの子

のぞみの子

めざす子どもの姿

- まなび合う子ども 目的や目標を確かにもち、互いの考えに学び合う子ども
- きたえ合う子ども 最後までねばり強く取り組み、心と体をきたえ合う子ども
- ひびき合う子ども 自分のよさや相手のよさを捉え、心と心がひびき合う子ども

学校紹介

1875 1876 1878 1887 1898 1910 1920 1934 1943 1949 2004 2028

小学校授業講習所

鹿児島師範学校

仮師範学校附属小学校

鹿児島尋常師範学校附属小学校

鹿児島県師範学校附属小学校

鹿児島県師範学校附属小学校 鹿児島女子師範学校附属小学校

鹿児島県第一師範学校附属小学校

鹿児島県師範学校附属小学校

鹿児島師範学校男子部附属国民学校及び同女子部附属国民学校

鹿児島大学教育学部附属小学校

国立大学法人鹿児島大学教育学部附属小学校

創立百五十周年記念式典挙行予定



「私は海の子」

長らく作詞者不詳であったが、平成12年本校卒業の児童文学者「宮原晃一郎氏」であることが判明。

昔の様子

1912
師範学校附属小学校



1935
天覧授業（国語）



1942
師範学校附属小学校



1942

女子師範学校附属小学校



1978

鹿児島大学教育学部
附属小学校



附属小の特色ある教育活動

教育実習



毎年、鹿児島大学からの教育実習生を受け入れています。教育実習生は、実際に子どもたちに授業を行います。毎年、教育実習生の授業を行う姿は、子どもたちにとって、夢や目標に向かって頑張る大切さを伝え、かけがえない思い出になるものとなっています。

公開研究会



毎年、日頃の学習の成果を発表する場として、公開研究会を行っています。この会には県内外から600名を超える多くの先生方が参加し、授業の様子を参観します。各教科等の見方・考え方を働かせた深い学びの実現を目指して、子どもたちが学び合いを展開します。

マイプロジェクト



「マイプロジェクト」では、自分の興味があることや得意なことについて、とことん試したり、調べたりすることができます。3年生から6年生まで、探究したいことを自分で決めて、自分なりにいろいろな方法で調べたり、詳しい人に話を聞いたり、本やインターネットなどで調べたりしながら、解決していきます。

複式教育



複式Ⅰ組、Ⅱ組、Ⅲ組の3学級があります。1学級あたり上学年8名、下学年8名、計16名が共に学んでいます。子どもたちがガイドやフォロワーの役割を担いながら学ぶことを通して、自ら学ぶ力が高まります。また、異学年同士で関わりながら生活することを通して、協力する力や自己有用感が高まります。

英語教育



低学年から高学年まで全ての授業で、本校教諭とALTの2名体制で授業を担当し、ゲーム活動を工夫しながら、意欲的に英語を学べる授業を展開しています。

ICT教育



一人一台の端末とクラウドツールを使って、協働的な学びを行っています。また、端末を家に持ち帰り、各自のペースで電子ドリルに取り組むなど個別最適な学習にも力を入れています。

視察の受け入れ



県内外から多くの研修視察を受け入れています。授業のつくり方や研究内容について意見交換を行い、質の高い授業づくりにつなげています。

体験活動の充実



理科では、実際に川や地層の見学を行ったり、社会科では、浄水場や市内の町の様子を見学したりと、本物に直接触れることができる豊かな体験活動が展開されています。

附属小学校の特色ある教育活動を実現するために、以下のような学校全体の仕組みづくりにも取り組んでいます。

午前中の5時間授業

全学年、午前中に5時間の授業を行っています。集中力が高い午前中に授業を行うことで、子どもの資質・能力がよりよく育まれる仕組みになっています。



週時程（通常校時）				
月	火	水	木	金
朝の会（10分） 8：15～				
1校時				
2校時				
3校時				
4校時				
5校時 ～12：35				
給食→昼休み→掃除				
6校時 ～14：50	下校完了 14：30	総合的な 学習の時間 （90分） 13：55～ 15：25	6校時 ～14：50	下校完了 15：15
下校完了 15：15		下校完了 15：45		

2学期制

4月から10月上旬までを前期、10月中旬から3月までを後期とした2学期制を導入しています。前期と後期の間に秋休みがあります。3学期制を2学期制にすることで、始業式・終業式等の回数が少なくなり、その分を授業時間に充てることができます。

教科担任制

各教科等を専門に研究している職員を中心に教科担任制も積極的に導入しています。各教科等の学ぶ意義や楽しさを感じられる授業づくりに努めています。



カリキュラムの充実 ~ひと・もの・こととの関わりの重視~



5年 自然教室



運動会



6年 修学旅行

登山をしたり、レクリエーションをしたりして友達との仲を深めることができます。



音楽発表会

修学旅行は、長崎県と熊本県に2泊3日で行きます。学びが深まる旅行になっています。



一日遠足



標本・自由研究講習会



写生会



親子ふれあい活動

親子でふれ合ったり、学んだりする機会もたくさんあります。

部活動紹介



吹奏楽部



合唱部



陸上部



水泳部

本校児童の活躍〈過去の主な受賞記録〉

国語科	鹿児島県児童生徒作文コンクール	特選	情報	南日本小学生プログラミング大会	学校賞、特別賞(鹿児島信用金庫賞)、優秀賞	
	南日本作文コンクール	南日本新聞社賞、1席、2席		I P A 「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」 標語部門	優秀賞	
	棕鳩十読書感想文コンクール	棕鳩十賞、優秀賞、特選		音楽	鹿児島県合唱フェスティバル	金賞 鹿児島県教育委員会賞
	「小さな親切」作文コンクール	文部科学大臣賞、優良賞			九州合唱コンクール	銀賞
	南日本硬筆展	市教育委員会賞、芸術学園賞			N H K 全国学校音楽コンクール 鹿児島県コンクール	金賞
かななべ青の俳句大会	特選	N H K 全国学校音楽コンクール 九州沖縄ブロックコンクール	奨励賞			
社会科	鹿児島県小学校社会科作品コンクール	最優秀賞 優秀賞 佳作	体育	鹿児島県吹奏楽コンクール	金賞	
算数科	統計グラフ全国コンクール	佳作		九州吹奏楽コンクール	金賞	
	鹿児島県統計グラフコンクール	学校賞 特選 審査員特別賞 入選 佳作		九州アンサンブルコンテスト	金賞	
理科	県理科に関する研究記録展	県知事賞、県教育委員会賞 南日本新聞社賞		鹿児島市水泳記録会	5年女子25m自由形 第1位	
	県昆虫・貝・植物・岩石展	県知事賞、県教育委員会賞 市長賞 市議会議長賞		鹿児島市陸上記録会	5年男子走り幅跳び 第1位 6年男子100m走 第1位 6年男子400mリレー 第1位	
生活科	全国小学生『未来』をつくるコンクール	優秀賞				
図画工作科	人権に関するポスターコンクール	入選				
	全国国立大学附属PTA連合会絵画コンクール	特別賞				
	鹿児島県図画作品展	特選				

互いの絆が深まる3年生から始まる登山など直接体験を重視したカリキュラムを組んでいます。

宿泊的行事では、友達のよさや、みんなでひとつにまとまることの大切さをあらためて感じる
ことのできる貴重な体験をすることができます。

運動会では、みんなが考えたスローガンの下、運動の楽しさを味わいながら、友達と協力することを通して、集団の一員としての自覚を深めることや個性の伸長を図ることができます。

音楽発表会は、1年交代で市内の大きなホールや体育館で行われます。音楽発表会を通して、音楽の素晴らしさを改めて感じたり、自分や友達のよさを見つけたりすることができます。

このように、ひと・もの・こととの関わりを重視した活動を多く取り入れています。

また、吹奏楽部、合唱部は、本校の職員と講師を招いて常時活動しています。陸上部、水泳部は、鹿児島市の大会に向けて時期的に活動しています。このように、個性を発揮することができる部活動を行っています。



アクセス

市電

「中郡電停」下車
(徒歩3分)

JR

指宿枕崎線「郡元駅」下車
(徒歩7分)

鹿児島本線「鹿児島中央駅」下車
市電「中郡電停」下車(11分)
(徒歩3分)

市営バス

(鹿児島中央駅経由)

11番線(鴨池・冷水線)
20番線(緑ヶ丘・鴨池港線)
「法文学部前」下車
(徒歩5分)

鹿児島交通バス

(鹿児島中央駅経由)

18番線(大学病院線)
19番線(紫原・桜ヶ丘団地線)
「附属小学校前」下車
(徒歩1分)

南国交通バス

(鹿児島中央駅経由)

N30番線(県庁西・鴨池新町方面)
「附属小学校前」下車
(徒歩1分)

N39番線(武岡・鴨池港線)

「附属小学校前」下車
(徒歩1分)



入学に関するお問い合わせ



鹿児島大学教育学部附属小学校

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番15号

TEL 099-285-7962

FAX 099-285-7983

HP <https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/eschool/>